

怒 「破の道場」

～ Think globally. Act locally. ～

福島県立安積黎明高等学校
第2学年 学年通信 No. 7
発行者 令和5年度第2学年
TEL 024-932-0443 2023/11/06



修学旅行終了

～ 晴天に恵まれた4日間 ～



10月10日(火)～13日(金)に修学旅行が実施されました。コロナ感染症が5類に移行されたこともあり、どの見学場所も観光客で溢れていました。好天にも恵まれ内容の濃い、思い出多い旅行となりました。

●10月10日(火)

朝、郡山駅西口に集合し、先発隊と後発隊に分かれて出発。風の噂では安積黎明高校に集合したメンバーがいたとかいないとか。東海道新幹線に乗り換えて一路広島へ。途中、名古屋駅通過後「味噌カツ幕の内弁当」を堪能する。**広島到着後、平和記念公園を巡り、貴重な講話いただいた後、平和記念資料館を見学。「戦争は絶対にしてはいけない」と心に刻む。夕食は「お好み焼き」、事前注文の量では足りないメンバーもいたようで、追加注文で広島お好み焼きを食べまくり。お店の人との会話も十分に楽しむことができた。グランドプリンスホテル広島には8時過ぎの到着。**



講話 (中国新聞社)

●10月11日(水)

午前5時に、朝練参加者がロビーに集まる。一番乗りは野球部。他の部活動部員も集まり、日の出前に練習をする。朝食後、厳島神社へ観光船で移動する。瀬戸内海の島々を眺めながら40分程の乗船。**厳島神社見学後は、クラス別研修となる。姫路城、東大寺、奈良公園、春日大社、興福寺と見学をしながら歴史の重みを感じる。春日大社の説明をしてくださった宮司の方が、「安積黎明生の話の聞き方が素晴らしい」と絶賛していた。**

夕食は、修学旅行でお馴染みの「なら和み館」。心温まるおもてなしを受ける。夕食後、滋賀県大津を目指してバスの旅。びわ湖大津プリンスホテルには9時到着。



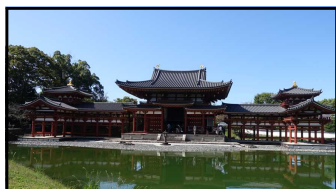
月	日	曜日	行事予定
11	1	水	ふくしま教育の日・学校へ行く週間 授業参観①保護者講話(1年)
11	2	木	授業参観② 全統秋期国立大入試オープン模試(3年希望者)
11	3	金	文化の日
11	4	土	全統秋期国立大入試オープン模試(3年希望者)
11	5	日	
11	6	月	
11	7	火	芸術鑑賞教室
11	8	水	課題探究中間発表会
11	9	木	
11	10	金	避難訓練
11	11	土	
11	12	日	
11	13	月	
11	14	火	
11	15	水	
11	16	木	
11	17	金	後期中間考査(2年)
11	18	土	
11	19	日	
11	20	月	後期中間(3学年末)考査(1・3年)
11	21	火	
11	22	水	
11	23	木	勤労感謝の日
11	24	金	
11	25	土	全統プレ(3年,日大)
11	26	日	
11	27	月	40 (追考査) 職員会議 (追考査)
11	28	火	(追考査)
11	29	水	(追考査) 課題探究シンポジウム(1年)
11	30	木	第3回衛生委員会 面接週間(～12/13,45分授業)

●10月12日(木)

前日同様、午前5時に朝練参加者がロビーに集まる。琵琶湖を目の間にして練習開始。

3日目は、京都市内班別自主研修。8時過ぎに、数十人のタクシーの運転手さんがロビーに集結。班ごとにタクシーに乗り込み、それぞれの計画に基づいて研修開始。嵐山、渡月橋、金閣寺、宇治、北野天満宮等充実した1日となる。

夕方、ホテルに戻り、夕食後に荷物を発送する。全室から琵琶湖、比叡山が一望できるすばらしいホテルでの宿泊となった。



●10月13日(金)

予定にはなかったが、前日、「朝、琵琶湖湖畔を散歩したい」という声が上がったので、「散歩したいメンバーは5時にロビー集合」と連絡した。10人位かと思っていたら、なんと40人程やってきた。最終日、琵琶湖の朝の様子を体感する。

最終日は、クラス別に京都市内を見学。清水寺、北野天満宮、伏見稲荷神社、二寧坂を見学。インバウンドの影響もあり、海外からの観光客が非常に多かった。

京都駅から新幹線に乗り帰路に就く。東京駅からは先発隊と後発隊に分かれて郡山へ向かう。郡山着、解散。お疲れさまでした。

修学旅行中の“チョッとよい話”

●添乗員の方々から

「集合状況や整列状況がとてもすばらしい」「話をきちんと聞くことができる」

「また黎明高校に添乗したい」「ホテルのエスカレーターで『荷物持ちますか』と男子生徒に声をかけられた。そのような言葉を発する高校生に出会ったことがなかったので『なんと優しい高校生なのかと涙がでそうになった』」

●2日目のバスガイドさんから

「所作や質問に対する答えの内容で知性が豊かだと感じた」

●最終日のバスガイドさんとのエピソード

ある号車の話。最終日は半日だけの京都市内研修。研修を終えて京都駅が近づいてきた。バスガイドさんのあいさつが始まった。なぜか途中で涙ぐみ「素晴らしい出会いでした」と話す。メンバーたちの所作に感動したとのことあった。誰かが言った「校歌やるよ」。指揮者がイニシアティブをとり全員で校歌を演奏した。京都駅駐車場にバスが到着すると同時に、計算したかのように校歌演奏が終了した。「私、どうしたらいいんでしょうか」と大粒の涙をこぼし感動されていた。



保護者の皆様へ



集団生活や自主研修をとおして、人との関わりや自然や物との関わりに対する経験値を向上させることができましたと考えます。ご家庭においても、**今回学んだことを、かけがえのない人生を歩むためのキャリアプランニングにお役立てください。**

